ギャラリー無量 Gallery Muryow
キュレーション公募2023
OPEN CALL FOR CURATORIAL PROPOSALS 2023

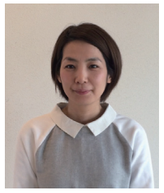
募集期間
2022.9.1(sun)→
2022.11.25(fri)

富山県砺波市の散居村風景の中に佇む「ギャラリー無量」の空間を活用した意欲的・実験的な展覧会プランを募集します。採択されたプランは、2023年10月（予定）にギャラリー無量主催の展覧会として実現します。

審査員―尺戸智佳子（黒部市美術館学芸員）／長谷川新（インディペンデントキュレーター）／松江李穂（キュレーション公募2020選定キュレーター）／鷲田めるろ（十和田市現代美術館館長）（敬称略）

主催―ギャラリー無量（富山県砺波市庄川町示野233番地）

審査員（敬称略）



尺戸智佳子
黒部市美術館学芸員（2014〜）

1979年生まれ
「山本優美　間–あわい–を読む」キュレーター
　ギャラリー無量（2018）
「風間サチコ展 コンクリート組曲」(2019)
「風景と色設計室ホー 台所に立つ、灯台から見る」(2020)
「山下麻衣＋小林直人「蜃気楼か。」」(2021)
「小林耕平 テレポーテーション」(2022 秋開催予定)

審査員からのコメント

特色あるギャラリー無量の空間を活かし、様々な気づきを与えられ感覚が刺激されるような企画を楽しみにしています。

（撮影：加藤甫）

長谷川新
インディペンデントキュレーター

1988年生まれ
「無人島にて――『80年代』の彫刻／立体／インスタレーション」(2014)
「パレ・ド・キョート／現実のたてる音」(2015)
「クロニクル、クロニクル！」(2016-2017)
「不純物と免疫」(2017-2018)
「STAYTUNE/D」キュレーター　ギャラリー無量（2019）
「約束の凝集」(2020-2021)

審査員からのコメント

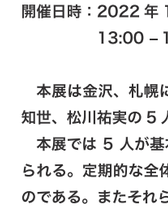
この社会において私たちの生を拡張するような企画を心待ちにしています。他者とどのように対峙するか、（高解像度であっても低解像度であっても）その正確さが求められています。矛盾して聞こえるかもしれませんが、身ぎれいで整理されておらずとも一向に構わない、と思っています。

松江李穂
キュレーション公募2020選定キュレーター

1994年生まれ
東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻修士課程在籍（2020〜）
埼玉県立近代美術館臨時的任用学芸員（2021年度）
「Welcome, Stranger To This Place」共同キュレーター (2021)
「一歩離れて / A Step Away From Them」キュレーター
　ギャラリー無量 (2021)
「埼玉県立近代美術館アーティストプロジェクト #2.06 高橋銑いき、またいきる」ゲストキュレーター（2022)
「菊谷達史・前田春日美 影をしたためる (仮)」キュレーター (2022)

審査員からのコメント

それぞれ選んだ作家の作品や、空間のポテンシャルを存分に引き出せるようなキュレーションの内容やテーマを期待します。キュレーションとは何かという根源的な問いにまで踏み込むような展覧会も見てみたいです。



鷲田めるろ
十和田市現代美術館館長

1973年生まれ
元金沢21世紀美術館キュレーター（1999-2018）
第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展
　日本館キュレーター（2017）
「越後正志展 loophole 」キュレーター　ギャラリー無量（2017）
あいちトリエンナーレ2019キュレーター
「インター＋プレイ」キュレーター（金澤韻との共同）(2020-22)

審査員からのコメント

ギャラリー無量の特殊性（都市部から離れ自動車でないと行きにくい立地、散居村の伝統的な日本家屋を改装した空間、仲間に支えられながらの個人による運営、それゆえの限られた予算）を最大限に生かした企画案を期待します。

関連企画・事前説明会

トークイベント「キュレーションについて」
日時：2022年10月9日(日)
　　15:00 – 16:00　※入場無料・申込不要
会場：ギャラリー無量
出演：松江李穂 / キュレーション公募展2020　選定キュレーター
※トークイベント終了後、応募を検討されている方を対象に、会場下見や応募に関する質疑応答を行います (30分程度)。
※キュレーター公募にあたり、事前説明会への参加は必須条件ではありません。

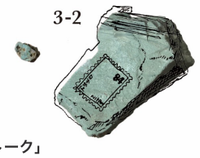
お問い合わせ先

〒932–0315
富山県砺波市庄川町示野233番地
ギャラリー無量

☎0763–82–2214
Email：muryow@gallery-muryow.com
HP：https://www.galleru-muryow.com/
　　検索「ギャラリー無量　砺波市」

展覧会告知

「霧の向こうから石が」
開催期間：2022年9月30日（金）– 11月28日（月）
　　10:00 – 12:00 ／ 13:00 – 17:00
　　金・土・日・月曜日のみ開廊
アーティスト：大橋鉄郎、葛西由香、吉川永祐、
　　小林知世、松川祐実



関連行事：「霧の向こうから石が　アーティストトーク」
開催日時：2022年10月9日（日）
　　13:00 – 15:00

本展は金沢、札幌にそれぞれ在住する大橋鉄郎、葛西由香、吉川永祐、小林知世、松川祐実の５人のアーティストの企画で行われるグループ展。

本展では５人が基本１対１で、それぞれやり取りを行うことで企画が進められる。定期的な全体会はありつつも個々のやり取りの手段、内容は異なるものである。またそれらが一体どの程度が展覧会に持ち込まれるかは不明だ。「展覧会を開く」ことを考えれば、無駄が多く効率の悪い方法に思える。しかし、そこで私たちは自分の制作に加えて、あえて複数の回り道を行う。個々の制作、やりとりをひとつのものに統合するのではなく差異を含んだまま、それぞれの応答を試みる。

霧が晴れることを望んでいるわけではない。霧の向こうに投げた応答がどういった形であれ、投げ返されることを期待している。

企画概要

「キュレーション公募展 2023」では、キュレーターによる企画案を募集します。

全国でいろいろな展覧会が行われ、記憶の中に留まるものや忘れ去られていくもの、多くの展覧会が消費されていきます。ますます展覧会展開のスピードは速くなり、観客が置き去りにされ前のめりなっているかのようにさえ思われます。

そして今、時代の大きな転換期（コロナ禍・ウクライナ侵攻）を迎えている時、根本から展覧会のあり方を再考する場面に立たされています。キュレーションの可能性の再考はもちろんのこと、社会との関わり方や展覧会へ至るまでの過程を重視するキュレーションも多く展開されようとしています。

昨年、コロナ禍で１年間延期となった第１回「キュレーション公募展 2020」を実施致しました。選定されたキュレーター松江李穂氏の「A STEP AWAY FROM THEM 一歩離れて」です。人や物との距離を置くことが声高に叫ばれた時期だからこそ、一歩離れた＝少し距離をおいた、いつもとは違った視点を取り入れることの大切さを強く意識したキュレーションでした。数多くの展覧会と向き合うことを重ねてきた若きキュレーター が、４ 名のアーティストとの ２ 年間に及ぶコミュニケーションの継続を図り、互いの理解を深め、共同作業を通して作り上げた展覧会でした。ギャラリー無量（地方・富山）で展示する事の意味を問い続けたアーティスト達の参加が、キュレーションのレベルを上げていたことに結びついたのも印象的です。松江李穂氏の取り組みは、「記録集」として集約される予定です。

キュレーションの新しい方向が、今、美術界で問われています。しかし、キュレーターには、自分のキュレーションを実験してみる機会が多いとは言えません。キュレーターが、実際の展覧会の企画から実施までを遂行することで、貴重な体験や新たな可能性を見出すことを願い、本企画を計画しました。古民家を改修したギャラリー無量で、「キュレーションによって展覧会はこうも変わるのだ」と思わせるような、キュレーターの意欲的・実験的な企画を募集します。

ギャラリー無量

募集内容

キュレーターによるギャラリー無量を活用した意欲的な展覧会企画。
審査により１名（１組）を決定。

応募資格

・国籍、年齢、性別、資格の有無 (学芸員等)、経験の有無、個人、団体は問わない
　※事業に関する会議や打合せはすべて日本語で行います
・入選した場合、展覧会の準備開催および撤去に至るまで責任をもって遂行できること
・ギャラリー無量との連絡が円滑にとれること

支援内容

1. 展覧会実施経費として 35 万円（諸税を含む）を支給
2. 展覧会会場としてギャラリー無量の建物、敷地提供
　(搬入出期間を含む / その他の会場使用に関しては入選後調整のうえ決定)
3. 審査員 (アドバイザー) によるアドバイス
4. ギャラリー無量による展覧会実現までのサポート（展示作業サポート）
5. 広報及および宣伝協力 (ギャラリー無量 HP への情報掲載、印刷物送料等)
6. 監視スタッフの手配および費用負担

応募締切

2022 年 11 月 25 日（金) 必着
＊持参の場合は 26 日（土）20:00 まで

選考方法

2022 年 11 月 27 日（日）から書類選考・面談選考 1 組を選定
（12 月中旬から 12 月下旬　応募者全員に郵送にて結果通知）

事業実施スケジュール

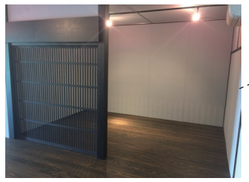
応募から選考までのスケジュール

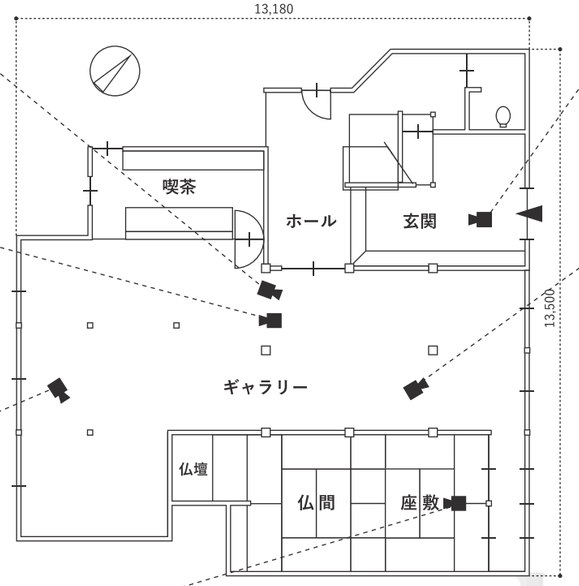
2022 年 ９ 月 １ 日（日）	応募開始
2022 年 10 月 ９ 日（日）	トークイベント・事前説明会
2022 年 11 月 25 日（金）	応募締切
2022 年 11 月 27 日（日）	審査（書類選考・面談）
2022 年 12 月中旬〜下旬	審査結果通知

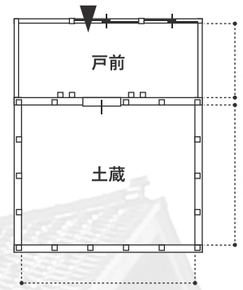
事業実施スケジュール

2022 年 12 月下旬〜	（予定）数回の企画会議
2023 年 ８ 月 中旬	DM・ポスターデータ作成・発送
2023 年 ９ 月下旬	展示設営
2023 年 10 月 ７ 日（土）〜 11 月 27 日（月）	（予定）展覧会開催
2023 年 10 月 ７ 日（土）	（予定）関連事業（＊トークイベントなど）
2023 年 11 月下旬	展示撤出
2024 年 1 月下旬	記録集作成

展示スペース







※建築図面データ等は、「キュレーション公募 2023」特設ページ（https://www.gallery-muryow.com/curation2023）よりダウンロードできます。

応募方法

ギャラリー無量のホームページ内「キュレーション公募 2023」特設ページ（https://www.gallery-muryow.com/curation2023）より、各様式をダウンロードの上、下記Ⅰ〜Ⅲの書類一式を下記送付先まで提出してください。

Ⅰ. 応募用紙（様式 1）
Ⅱ. 企画書（様式自由。応募用紙とは区別し、下記項目について A４用紙４枚以内にまとめる）
　・展覧会企画趣旨
　・出展予定作家及び作品案
　・出展予定作家の詳細
　・会期中の関連事業
Ⅲ. 予算書（様式 2）

※提出された応募書類は原則として返却しません。
※宅配便、レターパック、簡易書留等の送付記録が残る方法で送付してください。
※封筒に「キュレーション公募 2023 応募書類在中」と朱書きしてください。

応募書類の送付先

〒932-0315
富山県砺波市庄川町示野 233 番地
ギャラリー無量

応募書類の入手先

「キュレーション公募 2023」特設ページよりダウンロード
https://www.gallery-muryow.com/curation2023